

令和7年度第3回地域課題協議部会 記録

令和7年6月18日

市役所3階会議室

10:00~12:00

参加者：たまぷらねっと、ともに一サポート、みなも、サプラ、猫日和、福祉サポートライン、なびい、エプシロン、くにたち発達支援センター、ハッピーテラス国立駅前、しょうがいしゃ支援課

1. 前回の部会（5/21）の内容確認

スクリーニング表の扱い方（仕分けの再考）、WGの位置づけ・作り方

この先どうして行くか？優先順位の付け方？

2. 6/5事務局会議内容

10月までの流れを見据えて

今日は過去の経験値の差などから意識の違いや動き出してから？となることもある為、方向性を決める為の意見交換・話し合いにするのはどうか？

（7、8月で具体的にする、9月は10月の全体会で出せる物にする）

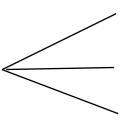
3. 自立支援協議部会再編にあたって

大事なのは参加する側のモチベーション（それを維持するように進める）

WGの作り方・・・スクリーニング表の大項目ではなく、小項目で作る方が進めやすい？

優先順位・・・④関心のあること⑤やりたいこと⑥達成したいのでやりやすいもの（作業を進めやすいもの）

<⑥から取り組んで行ってもいいのではないかと？>

WGの分け方 

- 調査系（何か調べる、統計を取る等）
- 作る系（パンフ作り、交流会を企画する、居場所作り等）
- 学習系（研修企画、イベント企画等）

<部会メンバーからの意見>

小項目同士付けられるものもある

どれをどうすればいいのかイメージが湧かない

WGがあってそこで何をしていくか決める？

取っ掛かりが出やすいものと何も思い浮かばないものがある（やりやすさから選ぶ）

どういふことをやってもらうかまでは部会で決めてWGに渡す

目的を絞り込んでからおろす方が活動が進む

WGの中で話し合ってからだといつまでも話し合いになってしまう

→WGの活動後には部会に戻って来る

→WGの中でやり方などはWGメンバーで話し合っ

3月の全体会でも「とりあえず優先順位を付けたら？」と言われた

昔のようにならない、何のためにどこに向いているのかを分からない状態にしない

やってみただけで何となく違うね、にならないようにしたい

WGを作ってもみんなが戸惑って進まないのは困る

モチベーションが高い人＝困っている人＝ヘルパー不足か？

→イメージしやすい、たくさんの人が困っている

スクリーニング表の上からやって行ってもいい（やってみないと分からない）

結局、全部つながっている（差別があるからヘルパー応募が少ないなど）

調査してもらうことから始めてもいいのかも？（ヘルパーさん、利用者、家族）

視点を戻す。出た物の中で、と以前話し合っている

→WG立ち上げは地域課題協議部会でいいと言われている

→当事者の意見は市の障害者計画の中で拾っている？

●まずは「やる前に考えるのか？やりながら考えるのか？」

“ここを進めて行くことを10月の全体会までにやる”

この部会のメンバーから分かれて入って行き、組織化するのにも時間が掛かる

WGは困り事解決の為のグループ（部会メンバーも入って行く）

目的によって入るメンバーや声を掛ける対象はこれから考える

10月の全体会で『こういうWGを作りたいと考えています』と案を提示する

→全体会からの意見をもらう

動きすのは10月の全体会の後からになる

●上からやってみる（どういうグループを作るか？解決後はこうなるなど考えてみる）

1-①「プールに入れる重度訪問介護ヘルパーが見付からない」はピンポイント過ぎる
プールに入れるヘルパーor重度訪問ヘルパー

① ~⑥WG実際にやりやすい（サービス毎だと分かりやすい、ニーズ調査）

児童で1つは立ち上げられる（下校時刻の変更の多さ、学校に行く際の身なり・方法）

送迎の問題は市に陳情があり、一時車で送迎する（交通課）などの対応を検討したこともあった

⑥スクールバス問題は都教委からの『高校生はスクールバスに乗れない』お達し発令から
将来の自立に向けて高校生からは公共交通機関を使って登校する←自立へのステップ

下校は放デイが担うことが増え、帰りのバスは空っぽもある（朝の等校時が問題）

全体会の構成員には市の教育委員会の方がいらっしゃるので問題定義してみるのもいい

市教委から都教委へ上げてもらう

そもそも移動支援事業所が少ない

夕方の時間帯は事業所の終わりの時間帯と被っていてニーズが多い

ヘルパーさんの中にはお金ではなく、ボランティア精神でやってくれてる人も居る

公共交通機関を利用するか、スクールバスを使うかを自分で選択できるという

教育を受ける権利を侵される（権利擁護）

卒業後には一人で通所できるかどうかが大きい決め手になる

学校の下校については別でもいい←実態を知っておく必要あり<調査系 WG>

●ヘルパー不足＝人材不足

1－⑦「ヘルパーが定着しない」

ヘルパー同士顔を合わせる場が無い、集まれる場所も無い<作る系 WG>

ヘルパーステーションはあるが…

そもそもヘルパーさん自身が他のヘルパーさんとなつなりたいと思っているのか？

介護と障害でも違いが大きい

個人情報の取り扱いにはとても慎重になる、愚痴大会ではマイナス？

1人の利用者に関わっているヘルパーさんの集まりというのはいいい

楽しさや魅力を語る場になるといい

⑦この感じで残りもやって行く（次回までに考えを進められたら考えて来る）

④WGの数が多過ぎてもどうか？この2つだけでもいいのではないか？

⑦あと、もう1つか2つやってみたい、があるかを考えて来る

⑤WGに入って何をやりたいか？これをやりたい！があるか？

※最終的には、以下の2つのWGで進めて行くことになった

WG①登下校問題の実態調査

WG②ヘルパーの仕事の魅力を語る場作り

7月16日（水）部会前半で行うこと

④今回はWGにしなかったけれど「部会で協議するもの」に振り分けたものは保留を含めて今後どのようにするか方向性を出す

⑤WGに入らないメンバーは、10月以降、部会で何をするかを考える

“10月全体会に向けて、まずは整えることが目標”

今後の部会予定

7月1日（火）自立支援協議部会事務局会：市役所地下食堂 14：15～15：00

7月16日（水）部会：市役所3階第1・2会議室 10：00～12：00

8月20日（水）部会：市役所3階第2会議室 //

9 月 10 日（水）部会：市役所 3 階第 2 会議室 ”

10 月 15 日（水）自立支援協議会事務局会：市役所 3 階第 1・2 ”

全体会候補日、10 月 15 日（水）、20 日（月）、21 日（火）、31 日（金）18：00～